

効果的な普及啓発の手法について

目的

食品関連事業者やリサイクル事業者の取組への理解を深め、より具体的な県民一人ひとりの行動に結びつけていくため、県・市町村が連携してより効果的な普及啓発等を行う。

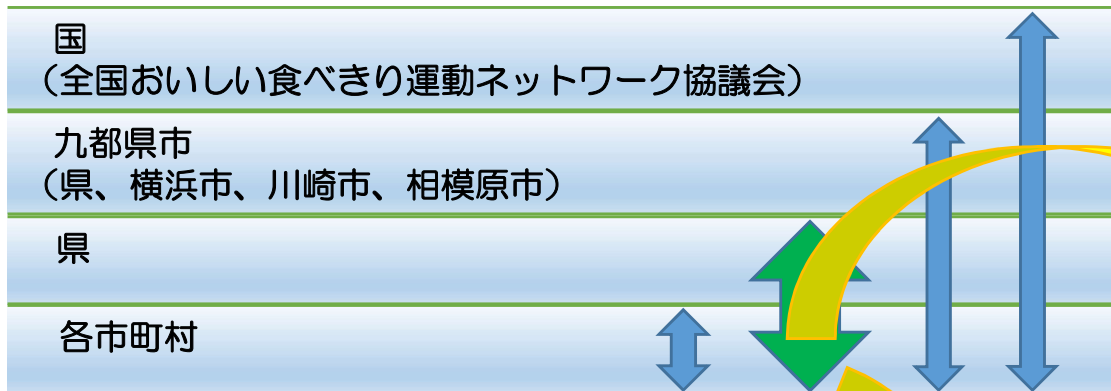
現状

これまで普及啓発は自治体ごとに取り組んできたが、先進的に実施している自治体やこれから本格的に取り組みとういう自治体まで状況は千差万別となっている。

課題

現在、多くの自治体では食品廃棄物の排出量調査が実施されておらず、目標となる数字が設定できない状況であり、普及啓発による効果測定は難しい。これまで食品廃棄物の削減に関心がなかった人等へのアプローチが大きな課題である。

○ 行政の取組



○ 民間との協力

外食産業

Next step

民間事業者との連携
事業者の取組を県民に周知

1st step

行政取組の連携強化

- 家庭で取り組むこと
 - 飲食店で取り組むこと
 - 共通事項
- 例；ポスターなど

◆ 効果的な普及啓発とは

- 1 各市町村の取組を促進する
- 2 県と市町村が連携して取り組む
 - ①実施時期を合わせる
 - ②同一テーマで実施する
 - ③多くの人の目につく場所で実施する